

# 教育支援センターだより

## Education Support Center Report

2018.4.24 文責 田中 径久



### 基礎体験活動合同説明会

4月18日（水）に、1年生を対象にした「基礎体験活動合同説明会」が行われました。今年度は21の事業所に来ていただき、予定している活動内容についてのポスターセッションを行いました。

1年生は、各ブースを積極的にまわって、事業所の方や学生スタッフの話に耳を傾けていました。入門期セミナーを通して、基礎体験活動への参加意欲が高まった1年生は、各ブースで積極的に質問する姿も見られました。この基礎体験活動合同説明会を通して、さらに基礎体験活動に対して前向きに取り組んでいこうという気持ちが高まったようでした。

1年生は、翌19日（木）から基礎体験活動への申し込みが解禁となり、さっそくいろいろな活動へ登録を始めました。19日（木）の0時になって、すぐに登録した学生もいて、基礎体験活動に対するやる気の高さが伺えました。この基礎体験活動を通して、いろいろな方との出会いから学び、さまざまな社会的体験を積んで、社会性や豊かな人間性を育ててほしいです。



### 1回生の感想より…

☆これから始まる1000時間体験学修に向けて、とても参考になる説明会になった。様々な団体や企業の方々に来て、自分がやってみたい活動や今までには考えもしなかった活動もあって、幅広く物事を選ぶことができるようになった。自然の中で子どもと触れ合う活動や、自分たちで企画し実行する活動、子どもたちに勉強を教える活動など、いろいろな体験に参加してみたいと思った。



☆体育館に入って驚いたことは、島根大学の教育学部生を支援して下さる事業者さんの数の多さでした。私たちの人間力向上のために、活動を提供して下さる方々に感謝します。それは、毎年来て下さるように、信頼を築き維持して下さった先輩方にも感謝しなければならないとも思いました。初めての活動は少し不安なので、友人と行くことになりそうですが、次第に自分で行動できるように努力していきます。



☆ボランティアは、今まで面倒くさそうだったり、疲れてしまったり、楽しくないイメージがありましたが、内容が子どもと触れ合うのがほとんどだったので、行く意欲が出てきました。自分のコミュニケーション能力向上や自己アピール、子どもとの接し方などを学べる良い機会だし、体験をする場所は、どこも知らない所だらけで、自分の世界が広がるし、たくさんの人々と知り合えるので、積極的に参加して力をつけていきたいです。



☆「地域の方々が、どんなスキルを持った大学生の力を欲しがっておられるのか」ということについても、文面だけでは測りかねる所が少なからずありましたので、それについての情報も仕入れることができ良かったです。想像していた以上に面白そうな、良い経験になりそうな活動が多くありました。早く参加したいと思うと同時に、このような機会を与えてくださった地域の方々への感謝の思い・言葉を忘れずに活動に参加したいです。

☆今日の基礎体験合同説明会を通して、私は自分がぜひ参加したい企画を見つけることができたので良かったです。実際に、事業所の方々や先輩方からの熱心な説明を聞き、以前よりも基礎体験活動のイメージを膨らませることができました。それぞれの説明を聞いている中で、子どもたちの満面の笑みが写った写真を見せていただいて、「自分も子どもたちの笑顔を引き出せるように、熱心に活動を行いたい。」という意欲も生まれました。基礎体験活動がすごく楽しみになりました。



☆どのブースも非常に魅力的で、時間が足りず全てを回りきれなかったのが少し心残りだ。各事業所の方は、自分たちのやっていることに誇りをもって、私たちにも参加の余地を与えて下さっているのだから、その期待に応えられるように責任感を持って一生懸命に取り組みたいと思った。1000時間をためることを目標とするのではなく、この取り組みに参加させて下さる人々とたくさん関わって貢献できるようにしたい。

☆入門期セミナーが終了し、1000時間体験学修に対して、やる気に満ちている時に行われた説明会でした。どんな活動があるのか、まだ知らない状況だったので、いくつもの団体の話が聴ける良い機会でした。将来は、学校現場で働こうと思っているので、基礎体験では学校以外のところにも参加して、自分の視野を広げてみたいと思います。自分の今までの感覚や価値観に変化をもたせることができたらいいなと思います。

